

## 2023年度

### 松山市立小百合保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年3月1日（金）～3月8日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月11日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	『一人ひとりを大切に』『保護者や地域と共に』という理念を常に意識し、職員全員が、子どもの気持ちを受容し、子どもにとって適切な保育が行えるよう、職員会やチーム会で話し合いや振り返りをする機会を設けた。今後も理念を職員の行動基準として、具体的な基本方針のもと、適切な保育を行っていく。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの発達に合わせた興味や関心、意欲を大切にし、人や物に自ら関わることができる環境づくりに努めている。安心した空間や時間を設けて、STEAM教育を取り入れ、今後も子どものわくわくできる心や様々な視点を育て、学びの基礎作りにつなげていきたい。
保護者に対する支援	行事や参観等、年間を通じて子どもの成長を感じる機会を作ったり、日常的な送迎時のコミュニケーションや掲示、連絡帳や『育ちの記録』等を活用し、子どもの理解の共有を図っている。今後も、保護者の意見や考えを、安心して話したり相談できる環境や機会づくりに努めていきたい。
保育を支える組織的基盤	自園の保育実践について丁寧に振り返りを行い、強みや具体的な改善点の共有を行った。私たちの役割や、保育の中で大切にしていきたいことを再確認するとともに振り返りの中で得た気づきを、保育の質の向上に向けた具体的な行動につなげていきたい。

総評
一人一人の子どもが遊びや学びの中で、人との関わりの中で、安心して自分らしい表現や行動し、今を十分に楽しめるような保育環境を整えていきたいと思う。また、日々丁寧な振り返りを行い、気づきは、職員間で共有し、改善に繋げていく体制を整備し、具体的な実行につなげていきたい。